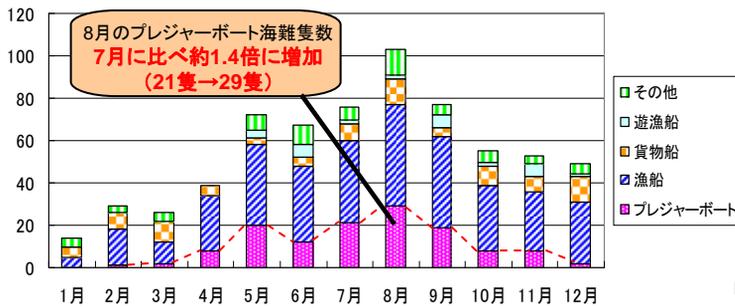


8月は、マリンレジャー、漁業活動が盛んになりますが、一年で**最も海難が多く発生する時期**でもあります。  
特に、**プレジャーボートによる海難が急増**します。プレジャーボートのみならず、周りの船の方も注意しましょう！

月別海難発生状況【H17～H21(異常気象除く)】

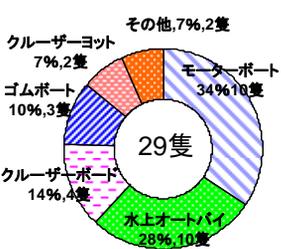


### 《遊漁船とモーターボートの衝突》

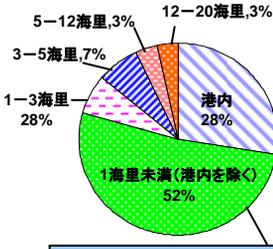
平成21年8月、苫小牧のマリーナを出港し、沖合いでシーアンカーを入れて遊漁中の**モーターボートA丸**(2.8トン、1名乗組み)船尾に、苫小牧港を出港し釣り場向け航行中の**遊漁船B丸**(4.75トン、8名乗組み)船首が衝突し、A丸の乗員1名が負傷しました。  
A丸は接近するB丸に気づいていましたが、自船の船尾を通過するものと思い込み、B丸の動静に注意を払いませんでした。一方、B丸は前方の見張りを十分に行わなかったため、A丸の存在に気づいていませんでした。  
**見張りを確実に、思い込みは事故の元です。**

### 過去5年 8月プレジャーボート海難発生状況

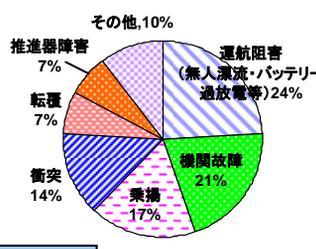
#### 【用途細分別】



#### 【距岸別】



#### 【海難種別】



港内を含む**1海里以内**で  
**約8割**の海難が発生

プレジャーボート海難で乗揚げ、衝突、転覆などの人命に関わる海難が約4割発生しています。せっかくの休みだからといわず、**無理をしないで**海の**状況の把握**に努め、**安全運航**を心がけましょう。  
また、ミニボートの海難は、平成17年に1隻発生した以降年々増加し、平成20年は5隻、平成21年は3隻発生しています。気象や海事知識の不足による海難が多いのが特徴です。ミニボートの愛好者も**海上交通ルール**を守り、**気象の把握**、周囲の**見張り**を行い**安全運航**に心がけて下さい。  
\*ミニボートとは次の要件を満たす船舶です。  
①船の長さ3m未満  
②推進機関の出力が1.5KW(約2馬力)未満  
③直ちにプロペラの回転を停止することができる機構を有する船舶、その他のプロペラによる人の身体の障害を防止する構造を有する船舶

## (お知らせ)さんま漁船の操業に関し、注意喚起情報をAISメッセージにて提供中

7月8日から道東沖で操業中の**さんま流し網漁船**の**操業情報**を、右図の赤のラインを東航する船舶及び緑のラインを西航する船舶に対し、下記のとおりAISメッセージにより提供しております。

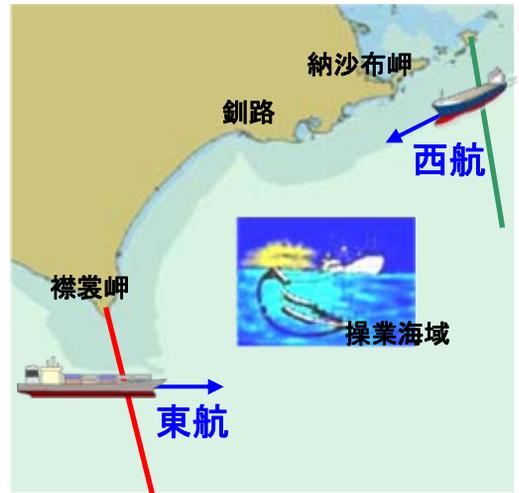
### AISメッセージの表示例

・小型漁船が昼夜を問わず操業中です。漁船及び漁網に注意して航行して下さい。

(英文表示例)

<HOKKAIDO>SMALL FISHING BOATS ARE ENGAGED IN FISHING AROUND THE CLOCK NOW.

BE CAREFUL WITH THE FISHER BOATS AND THEIR FISHING NET IN THE VICINITY.



この情報提供は、平成17年9月に根室沖で発生した外国貨物船とさんま漁船の衝突海難の再発防止のために行っています。

**さんま操業漁船及び漁具を視認したら、十分注意するとともに早めの避航動作をお願いします。**

### AIS搭載船舶へのお願い

- (1) AIS装置の電源は常時ONにし、操作方法を確認しておきましょう。
- (2) 自船の位置情報が正しく入力されているか定期的に確認しましょう。
- (3) 船舶データ、船舶の動静(航行中、錨泊中等)、目的地およびETA(到着予定時刻)の航海関連情報を正確に入力しましょう。
- (4) AISメッセージの受信時に、受信音が聞こえるようにしましょう。
- (5) 連絡手段確保のためVHF(CH16)を常時聴取しましょう。

ご要望、ご意見は第一管区海上保安本部交通部まで  
TEL 0134-27-0118  
(内線: 2615、2623)

次号へ続く～